

平成 30 年 12 月 20 日
国土政策局総合計画課

関係人口がマンガになりました！

～「マンガでわかる！カンタとケイコが学ぶ『関係人口』」の公表～

各地域に多様な関心を持ち多様に関わる人々「関係人口」について、より分かりやすくお伝えするため、国土交通省職員が企画し、手作りでマンガを作成しました。

この度、公表するマンガは、既に好評連載中の「マンガでわかる！国土管理～カンタとリコの訪問記」の特別番外編です。いつもの主人公カンタとリコに加え、リコの仲良しの妹ケイコが初登場します。人口減少時代を迎える中、各地域が過度な人口の奪い合いをすることなく、人々が各地域に多様な関心を持ち、多様に関わることを通じて人口をシェアし、地域や個人の生活を豊かにする新たなキーワード「関係人口」について、カンタとケイコと一緒に学び考えていきます。

「関係人口」について“知りたい”、“分かりやすく伝えたい”という皆様に、そのきっかけとして、このマンガを是非手に取っていただき、様々な場面でご利用いただけることを期待しています。

また、本物語は、人口減少地域の住民の生活を守り、「住み続けられる国土」を維持するために講ずべき施策について調査・検討を進めている「住み続けられる国土専門委員会」の2018年報告の一環で、来年1月に開催するシンポジウム「つながりがつくる地域の未来」とも連動した物語となっています。



○「マンガでわかる！カンタとケイコが学ぶ『関係人口』」リンク先：

<http://www.mlit.go.jp/common/001265775.pdf>

○ シンポジウム「つながりがつくる地域の未来」報道発表リンク先：

http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku03_hh_000154.html

○「マンガでわかる！国土管理～カンタとリコの訪問記」リンク先：

http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000096.html

○「マンガでわかる！国土管理～カンタとリコの訪問記」の facebook ページ：

<https://www.facebook.com/mlit.kokudokanri/>



↑ Facebook ページ
にリンクします。

【問合せ先】国土交通省国土政策局総合計画課 小路、水谷、伊藤
電話：03-5253-8111（内線 29-318、29-328）直通：03-5253-8365 F A X：03-5253-1570

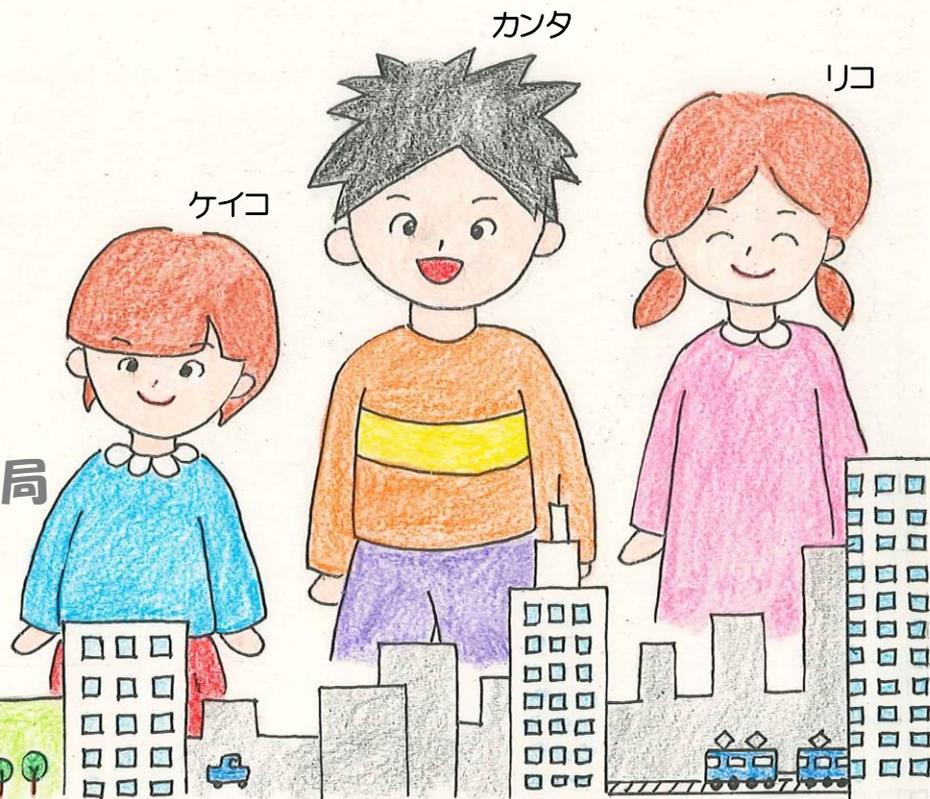
マンガでわかる！

カンタとケイコが学ぶ「関係人口」



明治大学農学部教授
小田切 徳美

国土交通省国土政策局
総合計画課





実はね、ケイコがクイズ番組の視聴者プレゼントクイズに応募したいみたいなの。でも、問題が難しくて。

リコ、どうしたの？

なるほど、どんな問題？



ええっと。どんな問題だっけ。

確か、なんとか人口でもなく、
かんとか人口でもない人口を
何という？みたいな
問題だったんだけど。

こんなじゃ
分からないよね。



さあ、視聴者へのチャレンジ問題です！
正解者には抽選で豪華景品をプレゼント。
それでは問題です！

リコの妹のケイコが
テレビ番組を見ていました。



移住した「定住人口」でもなく、
観光に来た「交流人口」でもない、

地域や地域の人々と
多様に関わる者といえば、
何人口というのでしょうか？

問題



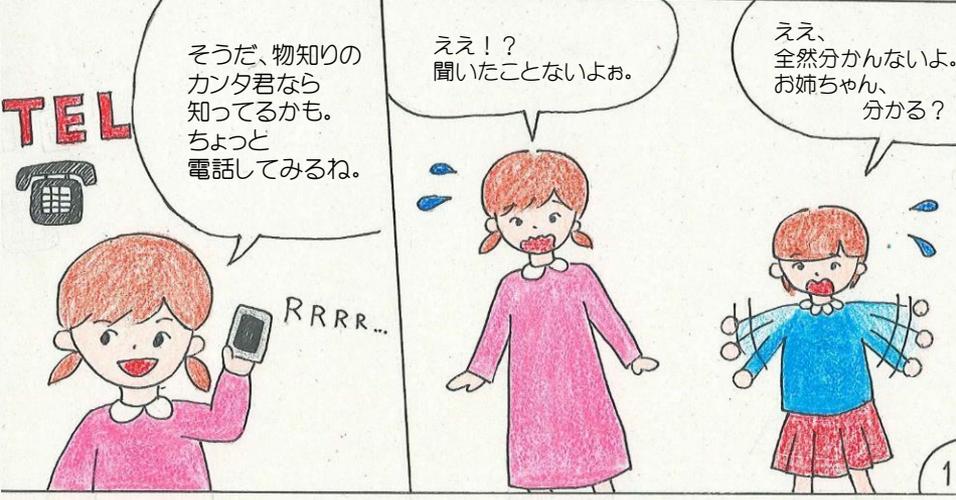
つながりがつくる
地域の未来
—ヨソモノ・ウチモノのつながりが創る新

日時 2019年 1月15日(火) 14:00
会場 建築会館ホール(新幹線)
定員 200名(お申込み先着限)

ちょうどいいや、
国土交通省主催で
シンポジウムが
1月15日(火)に
開催されるみたい
なんだけど、
一緒に行こうって
ケイコちゃんを
誘ってみてよ。

そこに行けば答えが
見つかるかも
しれないよ、って！

ははーん。
分かったかも。



そうだ、物知りの
カンタ君なら
知ってるかも。
ちょっと
電話してみるね。

ええ！？
聞いたことないよお。

ええ、
全然分かんないよ。
お姉ちゃん、
分かる？

後日...

そうですね。
今日のシンポジウムでは、
「関係人口」という言葉を
学んでいってもらえたら
嬉しいな、と
思っています。

関係人口

かんけい じんこう

先生、
今日のシンポジウムのポイントを
ズバリ教えてください！

おや、もしかして、
キミはカンタ君じゃないですか？

カンタ君とケイコちゃんは、
シンポジウム
「つながりがつくる地域の未来」の
会場にやってきました。

「関係人口というのはね、
「地域に関わってくれる人たち」
のことを言います。

「関係人口」ですか！？
初めて聞く言葉です。

カンタ君は有名人だからね。
「マンガでわかる！ 国土管理
～カンタとリコの訪問記」
での活躍、
いつも楽しみにしているよ。

あれ、もしかして
明治大学の
小田切先生ですか？
なぜ僕の名を…？

関わってくれる人たち、
ですかあ？
まだイメージが
つきません。

明治大学農学部
教授
小田切 徳美

※詳細は宮城県大崎市編を参照

茶碗1杯に6円だけ多く払えば、
農村の風景を守るために
貢献できるんだよ。

そういえば、リコちゃんが、
宮城県大崎市の鳴子の米
プロジェクトの取組について
学んでいましたよね。

はい。お姉ちゃん、
取組を聞いてすごく
感動したみたいで。

何度も家族や
学校の友達に
宣伝していました。



6円多く払うと言っても、コンビニの
おにぎりよりもこんなに安いんだよ！

鳴子の米
プロジェクトの農家

茶碗1杯=24円
農家の収入=18円

一般的な農家

茶碗1杯=18円
農家の収入=12円

ああ、リコちゃんの妹さんが。
お姉さん、いつも
いい質問をしているよね。

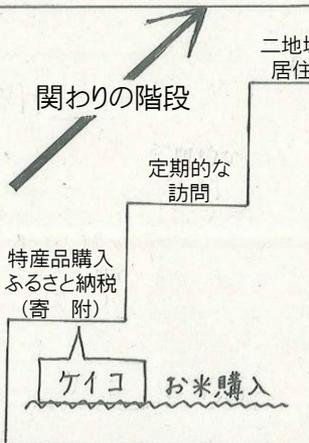
おや、
となりのお嬢さんは
初めて見るね。

お姉ちゃんのことも
ご存じなんですね！
感激です！

はっ、はじめまして。
私、リコ姉ちゃんの
妹のケイコと
いますっ！

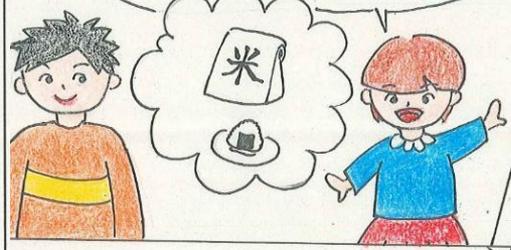
よく気づきましたね。ケイコちゃんの家族は、この階段で言う一番低い位置の「関係人口」になるかな。

この「関わり」の階段が、関係性の深さを表しているのですね！



それで、我が家では鳴子の米プロジェクトのお米を購入することにしました。

それはとても良いことですね。



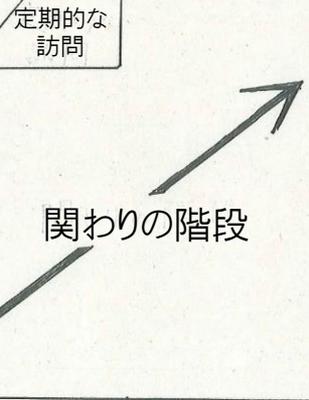
「関係人口」の中にも、関係の深さによって、色々な段階がありそうですね。その地域の人々が漠然と好きという人よりも、頻繁に通っているような人の方が、関係性が深い気がします。

なるほど。それならば、ケイコちゃんの家族はまさに、鳴子の米プロジェクトの人たちにとっての「関係人口」ですね。

地域に住んでいなくても、その地域のことを応援してくれるような人のことを「関係人口」と呼ぶんです。



そっかぁ。低い位置なんですね。



いえいえ。低い位置の階段が、実はとても大事なんですよ。一段一段がものすごく高い階段を想像してみてください。一部のアスリートみたいな人しか登ることができませんよね。

よいしょと！

定期的な訪問

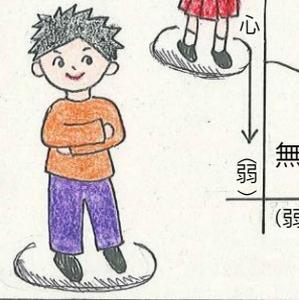
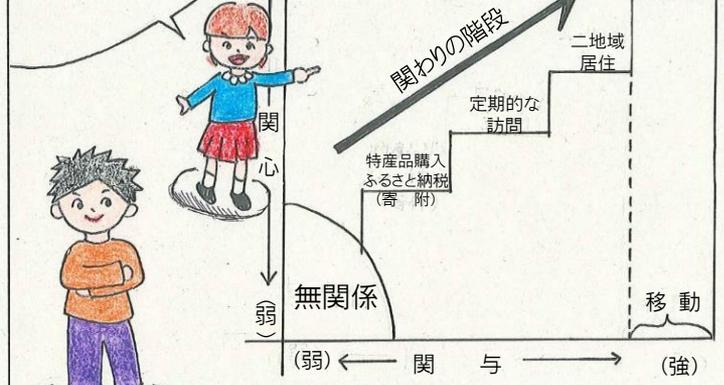
わ！

無関係



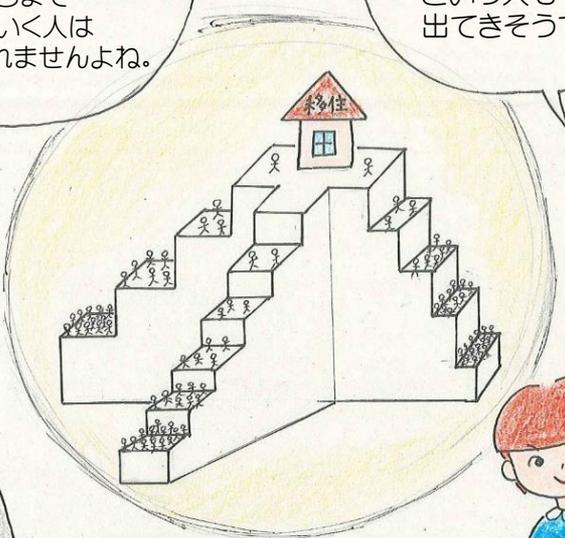
この図の「移住」でもない「無関係」でもない領域の人達が、「関係人口」ですね。

それは良い質問ですね。今のカンタ君の話を図で表してみると、こんなイメージになると思います。



そうですね。
それでも、最終的に
移住するところまで
階段を登っていく人は
一握りかもしれませんよね。

色んな階段があると、
やがては移住しようかな、
という人も
出てきそうですね。



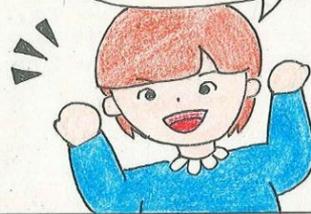
はい。
でも、次の段が低ければ、
登ってみようかな、という人も
出てきますよね。

確かに。
いきなり頻繁な訪問や
二地域居住ができる人は
限られそうです。



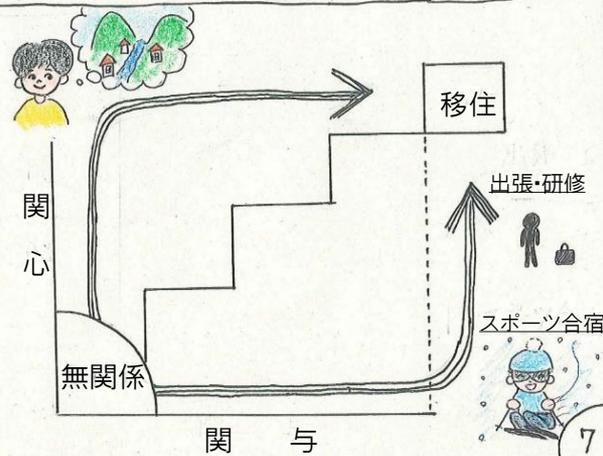
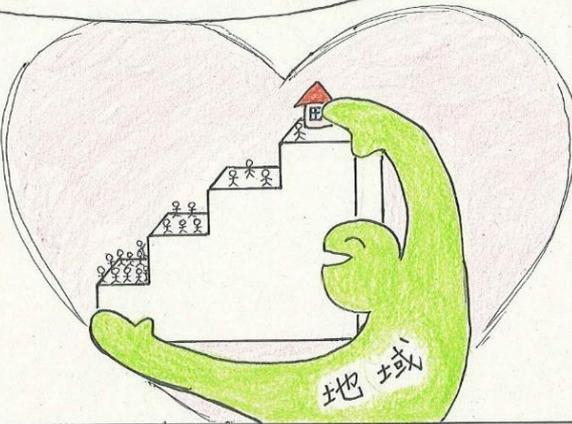
ケイコちゃんの家族が、
一段上の階段に
登った証拠ですね。

確かに！
移住するってイメージは全然沸きませんが、
今度家族で鳴子の交流イベントに
行ってみようって話になってますもん！



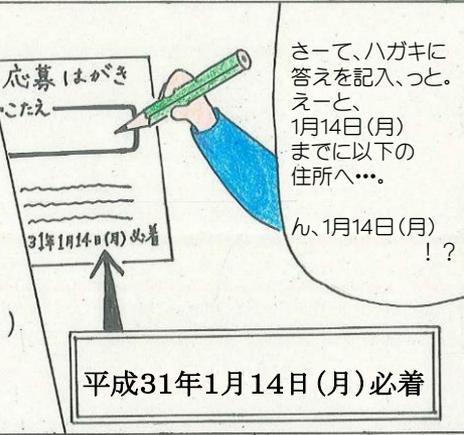
だから、地域の側では、
移住してくれる人だけを大切にするのではなく、
階段の途中にいる様々な人たちとの関わり合いを
大切にしていけることが重要になってくると思います。

また、色んな階段があった方が良くと思うんです。
地域への思いが先にどんどん深まっていくような階段があってもよいし、
地域への思いは少なくとも、
関与が先にどんどん増えていくような階段があってもよい。





ケイコ、まさか…。



応募はがき
こたえ
3月14日(月)必着

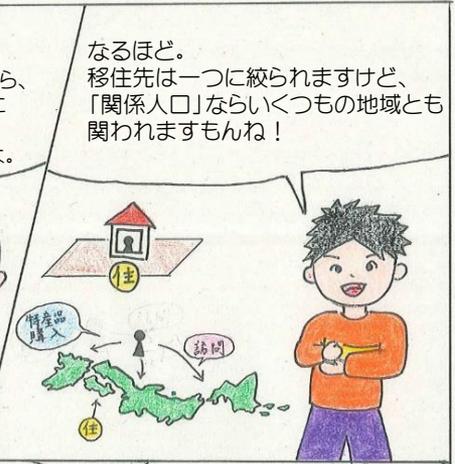
さーて、ハガキに
答えを記入、つと。
えーと、
1月14日(月)
までに以下の
住所へ…。

ん、1月14日(月)
!?

平成31年1月14日(月)必着



そうです。
これからは人口が
減少していきますから、
「関係人口」がさらに
大切になっていくと
思いますよ。



なるほど。
移住先は一つに絞られますけど、
「関係人口」ならいくつもの地域とも
関わられますもんね！



なになに、
教えてよ〜。

まあいっか、
今日は豪華景品よりも
大切なものを学んできたしね。



がぁーん。締切りが過ぎてる…。

(シンポジウム終了後…)



はーい！！

今日のシンポジウムで
「関係人口」への理解を
さらに深めていってくださいね！



へえへえ、なんでなんで？

ふたりの会話は延々と続きました。

(おしまい)



お姉ちゃん、うちの家族はねえ、
鳴子の米プロジェクトの
「関係人口」なんだよ。



やたら元気じゃな。
クイズの答えが
分かったのかな。

もちろん！！
答えは、「関係人口」です☆

お姉ちゃん、ただいまー！！

つながりがつくる 地域の未来

参加
無料

— ヨソモノ・ウチモノのつながりが創る新たな「ふるさと」づくり —

社会の成熟化に伴い、働き方やライフスタイルが多様化し、移住、二地域居住だけでなく、「関係人口」という地域との関わり方への関心も高まっています。本シンポジウムでは、「関係人口とは?」「地域とのつながりのつくりかたは?」という疑問について、基調講演、パネルディスカッションを通じて一緒に考えていきます。

日時

2019年

1月15日 火 14:00~17:00

会場

建築会館ホール (東京都港区芝5丁目26-20)

定員

200名 (お申込み先着順)



イラスト: PIXTA

第I部

14:00~

開会挨拶

基調講演

「関係人口とは」

指出 一正

株式会社木楽舎 取締役
月刊ソトコト編集長

「関係人口をめぐる政策構想」

小田切徳美

明治大学 農学部 教授
国土審議会計画推進部会
住み続けられる国土専門委員会委員長

第II部

15:20~

パネルディスカッション

▶コーディネーター

小田切徳美 明治大学 農学部 教授

▶コメンテーター

指出 一正 株式会社木楽舎 取締役
月刊ソトコト編集長

▶パネリスト

稲垣 文彦 公益社団法人中越防災安全推進機構
総括本部長

篠原 智美 ランサーズ株式会社 新規事業第II部
地方創生プロジェクトマネージャー

玉沖 仁美 株式会社紡 代表取締役



※プログラムは、都合により変更する場合がございます

土木学会CPDプログラム

主催: 国土交通省



講演者プロフィール

【基調講演】

小田切徳美

明治大学 農学部 教授

東京大学農学部卒業。東京大学大学院農学系研究科博士課程単位取得退学。東京大学農学部助手、高崎経済大学経済学部経済学科助教授、東京大学助教授等を経て、2006年より現職。農山村再生論、地域ガバナンス論が専門。著書に「農山村は消滅しない」(岩波新書)他多数。2016年より国土審議会計画推進部会住み続けられる国土専門委員会委員長。

指出 一正

株式会社木楽舎 取締役
月刊ソトコト編集長

上智大学法学部卒業。「Outdoor」編集部、「Rod and Reel」編集長を経て、2011年より「ソトコト」編集長。島根県「しまこトアカデミー」講師、高知県文化広報誌「とさぶし」編集委員等の地域のプロジェクトに多数携わる。まち・ひと・しごと創生本部わくわく地方生活実現会議委員。著書に「ばくらは地方で幸せを見つける」(ポプラ新書)他。

【パネリスト】

稲垣 文彦 公益社団法人中越防災安全推進機構 総括本部長



長岡技術科学大学大学院博士後期課程修了。新潟県中越大地震直後から山古志村の災害救援ボランティア活動に関わる。2005年地域復興のための中間支援組織「中越復興市民会議」を創設し、事務局長に就任。(社)中越防災安全推進機構復興デザインセンター副センター長等を経て、2018年より現職。総務省地域力創造アドバイザー等、中山間地域の再生や防災対策に力を入れる。

篠原 智美 ランサーズ株式会社 新規事業第II部 地方創生プロジェクトマネージャー NPO法人キッズバレイ 理事/エバンジェリスト



群馬県伊勢崎市生まれ。群馬銀行、株式会社インテリジェンスの新規事業立ち上げに参画後、働く女性の新しいライフスタイルを生み出す会社アネモイを創業し代表取締役を務める。地域のママやシニアのスキルを活かすため、2015年ランサーズへ参画しスキルシェアの仕組みを活用した地方創生事業を立ち上げ、山梨県小菅村を始め12地域で子育て中のママや移住者が活躍するお仕事コミュニティを構築。

玉沖 仁美 株式会社紡 代表取締役



幼稚園教諭を経て、1988年にリクルート入社。日本各地のモノづくり・観光・人材育成等、地域コンサル事業に携わり、じゃらんリサーチセンター初代センター長就任。2008年株式会社紡(つむぎ)設立。コーチング技術を用いた合意形成、人材育成事業、地域資源を活かした地域産品や観光事業の開発を手掛ける。2016年より国土審議会計画推進部会住み続けられる国土専門委員会委員。

会場アクセス

【会場】

建築会館ホール (東京都港区芝5丁目26-20)

【アクセス】

JR田町駅 (山手線・京浜東北線) 徒歩3分

都営地下鉄三田駅 (浅草線・三田線) 徒歩3分



お申し込み方法

ホームページ または FAX にてお申し込みください。

■ ホームページ → <https://www.mlit-sympo.jp>

①お名前、②ご所属、③ご連絡先 (住所、TEL、E-mail) をご記入ください。

■ FAX申込 つながりがつくる地域の未来 事務局 行 (FAX 03-6478-8432)

ふりがな お名前	
ご所属	
ご連絡先	住所：〒 ----- TEL： E-mail：

※ご記入いただきました個人情報、本シンポジウムの開催に伴う事務手続きに限り使用いたします。